

東御市産ワイン普及・振興事業

取組に至る背景・事業の目的

近年、気候や土壌がワイン用ぶどうの栽培に適しており、良質なワインを生産できる県として、その評価が高まりつつある長野県は、平成 25 年に「信州ワインバレー構想」を策定し、今後、ワイン産業の振興が本格始動していくこととなる。

東御市は、その構想内において、「千曲川ワインバレー」区域に属しており、平成 24 年度から本クラブが中心となり、東御市産ワインの P R を推進している。平成 25 年度の事業では、「千曲川ワインバレー」区域の近隣市町村との連携を図りながら、東御市産ワイン、千曲川ワインバレーのワインの普及をさらに推進していく。

事業内容

- 東御ワインフェスタ 2013
東御市内の 3 ワイナリー、千曲川ワインバレー区域のワイナリー、市内地ビール、地元飲食店が一堂に会して光と音楽で演出した空間でワインイベントを開催し、地域のワインを市内外へ P R した。
 - ・開催日時：平成 25 年 9 月 8 日（日）
 - ・開催場所：東御市文化会館
 - ・参加者：約 1,000 名
- 東御ワインスクール 2014
一般市民（近隣市町村民）を対象とし、東御市を中心に千曲川流域のワイン品質の特徴、ワインの楽しみ方などのワインに関する知識を地元の食材を使った料理と併せて学ぶ講座を開催した。
 - ・開催日時：平成 26 年 2 月 23 日（日）、3 月 9 日（日）
 - ・開催場所：地ビールレストランオラホ、アトリエ・ド・フロマージュ
 - ・参加者：70 名



【 東御ワインフェスタ 2013 】

事業効果

信州ワインバレー構想が発表されたこともあり、県内外のワインに対する興味、関心が高まっている中、東御ワインフェスタには去年のおよそ 2 倍の集客があった。課題もあるが、全体としては参加された方々に楽しんでいただくことができ、地域のワインを広く P R することができた。

ワインスクールでは、新たな試みとしてワインに料理を付けたことで、昨年とは違う客層の集客があり、客層の幅を広げることに繋がった。

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

次年度はワインフェスタの規模を拡大し、長野県内はもちろんのこと、県外からの参加者の増加も狙う。また、近隣の宿泊施設との連携を図っていく。

今年度のワインスクールでは、東御市産ワインに興味をもっていたが知識がないので参加したいという方が大半であったが、これからは東御市産ワインを知らない人もターゲットにしていく。そのためには、ワインを主体としたイベントだけではなく、東御市、上田市で開催されているお祭り等の地域のイベントに出店し、一般の来場者を集めてワインセミナーを行い、東御市産ワインや千曲川ワインバレーのワインの認知拡大につなげる必要がある。

平成 27 年度以降は、自立運営ができるようにイベントの方法やビジネスモデルについて検討していく。

【選定のポイント】

ワインフェスタ、東御ワインスクールの実施により、地域資源である「東御市のワイン」の魅力について市内外へ広く発信することができた。

団体名 東御ワインクラブ（東御市） 連絡先 Tel 0268-71-5515 E-mail tomiwineclub@gmail.com ホームページ https://www.facebook.com/tomiwineclub	事業タイプ ソフト事業 事業費 4, 417, 269 円 支援金額 3, 234, 000 円
---	--